

監 公 第 2 号
令和 8 年 8 月 3 日

阪神水道企業団監査委員 伊 藤 めぐみ
同 田 中 あきよ

令和 7 年度定例監査の結果に基づく措置状況の公表について

令和 7 年度定例監査の結果に基づく措置状況について、企業長から通知があったので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第14項の規定に基づき、次のとおり公表する。

令和 7 年度定例監査意見及び
要望事項に対する措置状況

阪神水道企業団

令和 8 年 7 月

目 次

1	人事労務管理の状況	-----	1
2	情報資産の管理状況	-----	2
3	予算の執行状況	-----	2
4	契約事務の状況	-----	2
5	財産管理事務の状況	-----	3

監査意見及び要望事項	措置内容等
1 人事労務管理の状況 (1) 超過勤務の申請について ここ数年、同様の指摘をしているにもかかわらず、超過勤務に係る申請がなされていない事例や勤怠（出勤簿等）に関する誤記載等が見受けられた。 職員各自において、速やかな超過勤務の申請や適正かつ正確な事務処理に努めることはもとより、管理職員におかれてはチェック意識の向上を図るとともに、所属職員の日々の勤務状況を的確に把握するなど適正な労務管理を徹底し、再発防止に向けて具体策を講じられたい。	[総務部 総務課] 超過勤務については、人事労務管理システムによる事前申請及び承認の徹底や、管理職員による所属職員の日々の勤務状況、超過勤務の状況等の適切な勤怠管理を行うよう繰り返し各所属へ周知している。 今後、メールにて行っていた所属長への勤怠管理に関する注意喚起については、幹部職員が出席する幹部会等の会議において、適宜、出退勤管理システムによる所属職員の勤怠管理を促すことで、チェック意識の向上や適正な労務管理の徹底を図る。
(2) 人材確保について 人材確保が困難な状況ではあるが、積極的なリクルート活動や計画的な採用により、年齢構成のバランス等を考慮した人材確保及び働きやすい職場づくりに取り組まれたい。	[総務部 総務課] 大学生インターンシップ・高校生職業体験の受入れ等により、就職先としての企業団の理解や関心を高めることに努めており、令和8年度はインターンシップ説明会や受入高校の拡大を実施している。 また、年齢構成の是正も考慮し、経験者採用を実施するとともに、内定辞退防止の取組としては内定者懇談会等を実施してきている。 働きやすい職場づくりについては、これまで時差出勤制度や在宅勤務制度を導入してきている。今後も、柔軟な働き方を実現させるため、在宅勤務対象者等の拡大、時差出勤制度や時間休暇制度の拡充に取り組んでいく。
(3) 女性職員の活躍について 「阪神水道企業団における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画」の期間が最終年度を迎えており、職員に占める女性職員の割合など、計画に掲げる目標に対する評価を行い、次期計画の策定に取り組まれたい。	[総務部 総務課] 前計画（令和3年度～令和7年度）では、一部目標が未達成であったものや、女性職員の計画的育成の必要性など、改善すべき点があった。 このことから、新計画（令和8年度～令和12年度）の策定に当たっては、女性職員へのヒアリングを実施し、その中で働き方やワークライフバランスに関する指摘があったことなどを踏まえ、課題解決に向けた施策と併せて、柔軟な働き方に向けた制度の拡充（在宅勤務制度や時差出勤制度の拡充）を目標に追加した。

監査意見及び要望事項	措置内容等
2 情報資産の管理状況 当年度より電子決裁機能を備えた文書管理システムが導入され、これまでの課題解消や文書管理等における業務の効率化が図られている。 しかしながら、帳簿や日誌類の電子化に対する規程等の整備が十分ではない状況や同じ種別の簿冊及び日誌類において、電子媒体と紙媒体とが混在し、所属によって扱いが異なる事例が見受けられた。 総括部局である総務課におかれては、早急な規程の整備や運用を踏まえた簿冊及び日誌類の取扱いの統一を検討するなど、全体の状況を十分に把握、指導を徹底し、文書管理等委員会が主軸となり、適正かつ効率的な文書管理が推進されるよう強く要望する。	[総務部 総務課] 帳簿類について、原則として電子媒体により作成、保存及び管理することとし、所属長に対して周知を行った。 また、企業団が保有する備付け帳簿（全44種）について、現行の取扱状況の調査を実施した。 さらに、文書管理等委員会において、当該調査結果を確認し、規程の整備状況及び簿冊の電子化への対応状況の点検、評価及び帳簿類の電子化に伴う規程等の整備を行うとともに、文書管理等委員会が主軸となり、適正かつ効率的な文書管理を推進する。
3 予算の執行状況 日本銀行の政策金利の引上げ等の影響により、水道事業収益の営業外収益にある受取利息は、大幅な超過収入となる見込みである。 このような社会状況を踏まえ、従来の運用方法等に捉われず可能な限り有利な運用を検討されたい。	[総務部 財務課] 現在も預金利率の上昇傾向が続いており、比較的短期での運用を行うことにより対応している。 預金利率の動向に注視しながら、安全かつ有利な資金運用を検討していく。
4 契約事務の状況 当年度に実施された「設計積算・入札契約制度に係る個別外部監査」の結果及び意見を真摯に受け止め、適切に対応されたい。	[総務部 総務課] 「設計積算・入札契約制度に係る個別外部監査」において、法令遵守及び不正行為防止の観点から、設計積算方法、見積り徴取方法、入札契約制度等に関する結果及び意見があった。 これらの結果及び意見に対して、設計積算マニュアルの改訂や見積り依頼先の公募の試行実施、入札参加者の増加を狙った入札公告案内のプッシュ配信等に取り組んでいる。 個別外部監査の結果及び意見を含め、企業団のコンプライアンスに関する取組については、コンプライアンス推進委員会が中心となって進捗管理することで、その実効性を確保する。

監査意見及び要望事項	措置内容等
5 財産管理事務の状況 売却を予定している住吉配水池及び住吉鉄筋公舎用地について、再々公募に向けた準備が進められているが、最もよい条件で売却できるよう工夫し、戦略を練った上で、取り組まれない。	[総務部 財務課] 住吉配水池及び住吉鉄筋公舎用地の売却については、不調となった要因を検証するとともに、サウンディング型市場調査等を実施し、年内の売却を目指して取り組んでいく。